

酒々井町郷土研究会々報

第69号

平成5年7月1日発行
酒々井町郷土研究会
編集部

バサラ

加川 治良

酒々井町郷土研究会々報の
前号を見てびっくり。私のご
先祖さまの一族の名前が出てく
るとは。懐しさにハラハラと落
涙？

佐々木道誉は、近江源氏(宇
多源氏の流れ)の分流である京
極佐々木氏の五代で、永仁四年
(一二九六)に生まれました。
佐々木氏の本地(本拠地)は近
江の佐々木荘(現在の滋賀県安
土付近)で、琵琶湖に面してい
た。その水利権を握ってしまし
た。長門、石見、香岐の守護職
についていましたが、まだ守護
大名とはいいません。守護大名
の成立は、もつと後になってか
らのことです。道誉の幼名は四
郎、長じて高氏。道誉は法号で
導誉とも書きます。佐渡守、左

衛門尉の檢非違使に任じられま
した。南北朝争乱の時代には足
利尊氏に属して戦功をあげ、足
利幕府の成立後は評定衆になり、
近江をはじめ出雲、飛騨、上総
などの守護職を歴任し、佐々木
家の大総領として宇多源氏の頭
領になりました。

佐々木道誉と言えば「バサラ」
といわれますが、このバサラと
いう語句は「太平記」の造語の
ようです。バサラの語源は、仏
教用語の「波娑羅」からきたも
ので「金剛」を意味します。梵
語の音訓は「バジラ」となりま
す。「太平記」には、佐々木道
誉のバサラ風が数々出てきます
が、この太平記は、小島法師と
いう物語僧によって書かれた南
北朝争乱、約五〇年の戦記物で
す。こうした「語りもの」には
史実との違いが多く見られます。
南北朝争乱期の史料では、古
い王朝勢力と抗争して新しく台
頭してきた武士集団を「悪党」

と呼び、幕府に悪党鎮圧を命じ
ていますが、そも幕府は武
士集団の頭領ですから、同じ基
盤に立ち、自分を支えているも
のへの鎮圧は出来ません。佐々
木氏も琵琶湖海賊？と手を結ぶ
ことによって大きな利権を得て
いましたので、こうした鎮圧命
令を辞退しています。

「峰相記」という史料には、
「所々乱妨……かかる類十人二
十人」という集団から「五十騎
百騎打ちつづき……」と悪党遠
が成長して集団化し、各地で蜂
起して新しい時代の担い手にな
っていったことが記されていま
す。古い体制から新しい体制に
移る時代は、新風潮を生み、そ
うした中でバサラという新造語
も出来たようです。なお書院造
り、仏間などの現代に残る生活
様式は、この時代に原形が作ら
れたといわれています。この時
代の花、香、お茶も花道、香道
茶道として今に伝わる芸道の基
本となっています。

花道の「池坊専応口伝」は天
文十一年(一五四一)の中世史料
ですが、「極楽浄土に吹く風も
瓶の上に匂ひくる……」とあり、
仏教の影響が大きいことが判り

ます。同じように茶道も禅も深
く仏教に結びついていますし、
「バサラ」の語源が仏教用語で
あるのを見て、バサラが単に
奇矯な行動や風体だけを意味す
るのではなく、仏教の「もつと
深いかかわりがあるように思わ
れます。なお道誉の所蔵した名
香を、のちに足利義政が接收し、
「御香預り所」をつくりました
が、その目録には「道誉百八十
足利百二十、三條六十六、志野
六十一」と記録されていて、道
誉がいかに多くの香を所蔵して
いたかが判ります。このうち三
條、志野の両家は香道の派祖と
して現在まで続いています。道
誉は、新しい時代の新しい文化
の基盤を築いて応安六年(一三
七二)に近江で亡くなりました。
行年七十八歳でした。

NHKの大河ドラマ「太平記」
に登場したご先祖さまの姿？を
見て、あきれで見ると禁じ？
ました。郷土研究会々報
でやつとその汚名？を晴らす事
が出来ました。



酒々井の伝説を訪ねて

ボイスカワ酒々井第一回カブ隊

泰 英晴

「えー、ここがそうなの？」
 「わあー、こんなところにカブ隊員達の声が、あちらこちらから上ります。子供達が将来伝説と歴史を通して一人一人が自分の町を知り、愛着を持ってほしいとの思いから、今回初めて参加させていただきました。何度が耳にしたことのある町名の由来「酒々井」が、こんなにも身近にありながら、何も気がつかずに通り過ぎていました。又、歌舞伎の「暫」は、今は子供達に理解出来ないかも知れませんが、しかし、これからの成長の課程において本で、あるいはテレビ等で見聞する機会を得ることと思います。そんな時、鎌倉権五郎と桜の樹のお話を、懐しく誇りを持って思い出すと期待しています。我々リーダー達も何を見ても何を聞いても初めてづくしです。酒々井生まれの押元副長曰く「四十数年住んでいるが初めて知ったよ、あそこがねえ」と感動の面持

ちでした。

新しさと味わい深い歴史が交差する町、弘法様、家康、武田信玄など歴史上の人物が伝説として残されている町、なんともすばらしいことです。伝説の奥のほうから酒々井町の歴史が見えかくれしてきました。最後に、郷土研究会の皆様、貴重な一日を子供達と一緒に体験することができました。本当にありがとうございました。うございました。

踊って笑って牡丹みて

平野 寿子

芦の牧温泉泊りの一泊見学会に主人共ども参加し、郷土研究会の一泊見学会の醍醐味を満喫しました。

美声のバスガイドさんのまこと上手な名所案内を聞きながら、バスは渋滞もなく、スイスイと走り、那須インターターを出て、わきびセンターで昼食。出発したばかりなのに、お土産を持って塔のへつりと大内宿を見学し、早目に着いたホテルの大きいお風呂です。かりりラックスでま

ました。

夕食の宴会の楽しかったことのように表現したらしいのやら。楽しませて下さった芸達者の方々に感心させられるやら、お腹をかかえるやら。芸者さんならぬ「富奴(富下文枝)さん」や「中ぎさん」や「(園部ゆきこ)さん」のあでやかな舞姿にうっとりさせられました。連日の快晴。二日目は、名

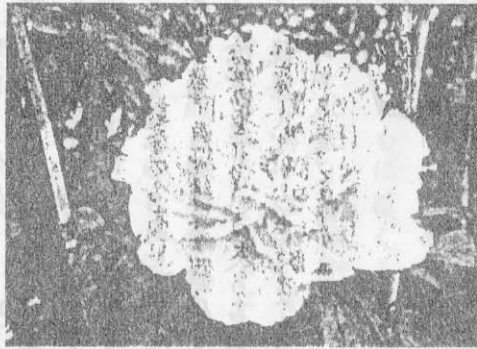


泉をかこんで一休み、くんでもつかない泉のように、よもやまばなしが、つつきます。どうぞあなにもお仲間にならね。

利を見て野口記念館より最終見学地、須賀川の牡丹園々に行きました。

須賀川の牡丹園の起ころは、今から約二三十年ほど前の明和三年(一七六六)にさかのぼります。当時、薬種商を営んでいた伊藤裕倫が牡丹の根を薬用

にするため、苗木を摂津国(現在の兵庫県宝塚市)から持ち帰り、栽培したのが始まりと伝えられています。正門前の牡丹姫像は中国洛陽市との牡丹を架け橋とする友好交流のあかしとして、洛陽市王城公園の牡丹仙子像を模したものでその美しい像にみとれてしまいました。牡丹の花がとてきれいでしたね。



須賀川の牡丹園



郷土研行事業内

平成5年7月~9月

	7月	8月	9月
史談会	10日(土) 午後1時30分 「酒々井町の石仏と文化財」 中央公民館 会議室	休み	11日(土) 午後1時30分 「酒々井町の石仏と文化財」 中央公民館 会議室
名勝探訪 野草の会	8日(木) 京成酒々井駅 8:15集合 名勝探訪 王子・駒込方面 京成酒々井 → 日暮里 → JR王子 → 紙の博物館 (入館料200円) → 法沢史料館(入館料300円) → 西ヶ原一里塚 → 平塚城跡・平塚神社(昼食) → 旧古河庭園(入園料100円) → 無量寺 → 妙義神 社 → JR駒込 → 上野 → 京成酒々井 (問い合わせ) (雨天中止) 代替日 7/3日(火)	休み 今期より雨天中止の代 替日を設けましたので 日時をご確認下さい。 入館料について 65歳以上の方は証 明出来るものをご持参 下さい。無料となります もあります。	9日(木) 京成酒々井駅 8:15集合 名勝探訪 上野方面 京成酒々井駅 → 京成上野 → 国立博物館 → 東照宮 → 上野公園内散策 → 京成上野 → 京成酒々井駅 (雨天中止) (問い合わせ) 代替日(7日 木曜日) 7:00以降 会場定
史跡文化財 愛護活動	7月4日(日) 午前8時 (参加されたい現地に集合して下さい) (雨天中止) 代替日 7月11日(日) (問い合わせ 会長宅 TEL 496-4861) 各自清掃草刈り用具 ご持参の上、都合のよ い現地にお集り下さい。 ご協力の程をお願いします。		
郷土史講座 (教育委員会共催)	8月8日(日) 午前10時開演 場所 酒々井町中央公民館 視聴覚室 演題 「酒々井町における日蓮宗」 講師 立正大学日蓮教学研究所 研究員 加川 治良 先生 皆様の御来聴をお待ち しております。		



名勝探訪 7/8(木) 9/9(木)

王子・駒込方面 7/8(木) 雨天中止代替 7/3(火)

本郷通りに沿って

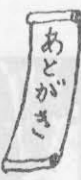
紙の博物館は昭和二十五年、全国の製紙会社・製紙用具製造会社の支持で設立され、館内には色々の紙の種類、紙で作られた美術品、工芸品等が展示されています。これより本郷通りを散策しながら法沢史料館を見学し昼食。午後からは旧古河庭園へ行きます。六月三日の雨天中止で、バラの最盛期が過ぎた残念ですが、古河市兵衛が造園した庭園で、武蔵野台地の根の土地の高低差を巧みに使い分けた近代庭園です。バラが少し残っているといいますが、最後に無量寺、妙義神社へ行きます。妙義神社は、日本武尊が祀られている神社です。帰りはJR駒込駅より上野に出て、京成に乗り換えて帰ります。

◎上野方面 9/9(木) 雨天中止代替 9/6(木)

博物館、東照宮、清水観音外上野公園は江戸城鎮護と国家安寧を祈願

して造った寛永寺の境内地であったが、明治六年東京都に下賜され公園となり、都市型公園では日本一の広さです。午前中は国立博物館(有料)をゆっくり見学します。

昼食後は旧池田屋敷表門・動物園の前を通り、五重の塔を外から見、東照宮を拝観します。(有料)日光東照宮に比べて規模は小さいが見所は沢山あります。お化け灯笼籠 大仏山パゴダ、時の鐘、丑茶天神、黒門ではここに残る弾痕は官軍のものか彰義隊のものか考えてみましょう。清水観音堂(京都の清水寺を模した子育観音で名高い)から秋色桜彰義隊の墓、西郷隆盛の銅像をまわります。隆盛の連れている大の名前等々ゆくり観察しながら歩きましょう。京成上野から座って帰ります。



日本中が待ち望んだ皇太子さまの御結婚の儀がヒリ行われ、王朝絵巻を見るような十二単衣のお姿や、華麗なパレードなど一日テレビに釘づけされた方も多かったと思います。この日は美しい映像を見ながら久しぶりに正しい美しい日本語を堪能しました。

時代の流れでしょうか、このごろの日本語の「ら抜き言葉」例へば「食べられる」を「食べれる」等の言葉の氾濫です。せめて郷土研で歴史を学ぶ私達は、正しい日本語を使うようにしていきたいと考えておりますが如何でしょうか。

